

校長室だより 第19号

校長 瀧 俊彰

元号が平成から令和に変わった今年。季節が夏から秋、そして冬へ移り変わり、長かった二学期も本日で終了です。夏季休業が短縮され8月26日に始まった二学期。その中で今年も多くの地域で台風の被害を受けました。「いまだかつて経験したことのない大雨」や「生命にかかわるような災害」という言葉が何度も使われていました。このような自然災害を通して『生命の大切さ』、『普通の生活が普通にできる』ことのありがたさに気付かされました。

さて、二学期を振り返り、良かった点とこれからの課題をあげます。まず全体的には大変落ち着いた状況で学校生活が送れていると感じます。体育祭、文化祭、音楽会などの行事面では素晴らしい成果を上げてくれました。山滝中学校だからできる「縦割り活動」を生かした特色ある取り組みをこれからも続けていきたいと思えます。特に体育祭での全校生徒による集団演技の「南中ソーラン」が印象に残っています。1年生はいずれも初めての取り組みでありましたが1年生とは思えないほどの出来でした。2年生はどの行事でも最大限の頑張りを見せてくれました。3年生はどの行事にも「最後の」の言葉がついて、3年生の思いがいたるところに表れ、全力を出し切り見ている人を感動させてくれました。このようにそれぞれの学年、学級で多くの「達成感」「所属感」を感じてくれたことでしょう。

また、生徒会活動も活発になってきています。10月より「当たり前前」のことが当たり前前ができる学校」目指してあいさつ運動、クリーンキャンペーン、授業態度を良くすること等に取り組んでくれました。執行部だけではなくすべての生徒が目標を達成しようとするのが大切なことです。

12月9日より総集編にとりかかりました。生徒の自主的な活動を期待、応援します。



次に課題をあげます。それはそれぞれの学習に対する取り組みの差がはっきりと出てきていることです。そしてその差はどんどん大きくなってきています。授業を大切にすることと家庭学習の充実が大切です。そしてもう一つ気になることはSNSに関わるトラブルの増加です。特に他人の個人情報（写真、動画等）を無断でアップしてしまうことです。後のことを考えずに、面白おかしくやったことが他人の人権を侵すこととなります。スマートフォンは正しく使えば便利なものですが使い方を間違えると人を傷つける道具にもなったり、いろいろな事件に巻き込まれる原因となることを認識してください。

今年もあとわずかとなりました。あわただしい年の瀬ですが、年末年始は今年度を省みて、新しい年への希望を持つ時期であると思えます。保護者や地域の皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、皆様にとって令和2年が素晴らしい年となるようお祈りいたします。

。

令和 1 年 12 月 23 日 岸和田市立山滝中学校